

平成22年発生災害の概要



農村振興局 防災課 災害対策室

鹿児島県南大隅町の土石流災害(鹿児島県撮影)

平成22年発生災害被害の額と件数

農地・農業用施設等

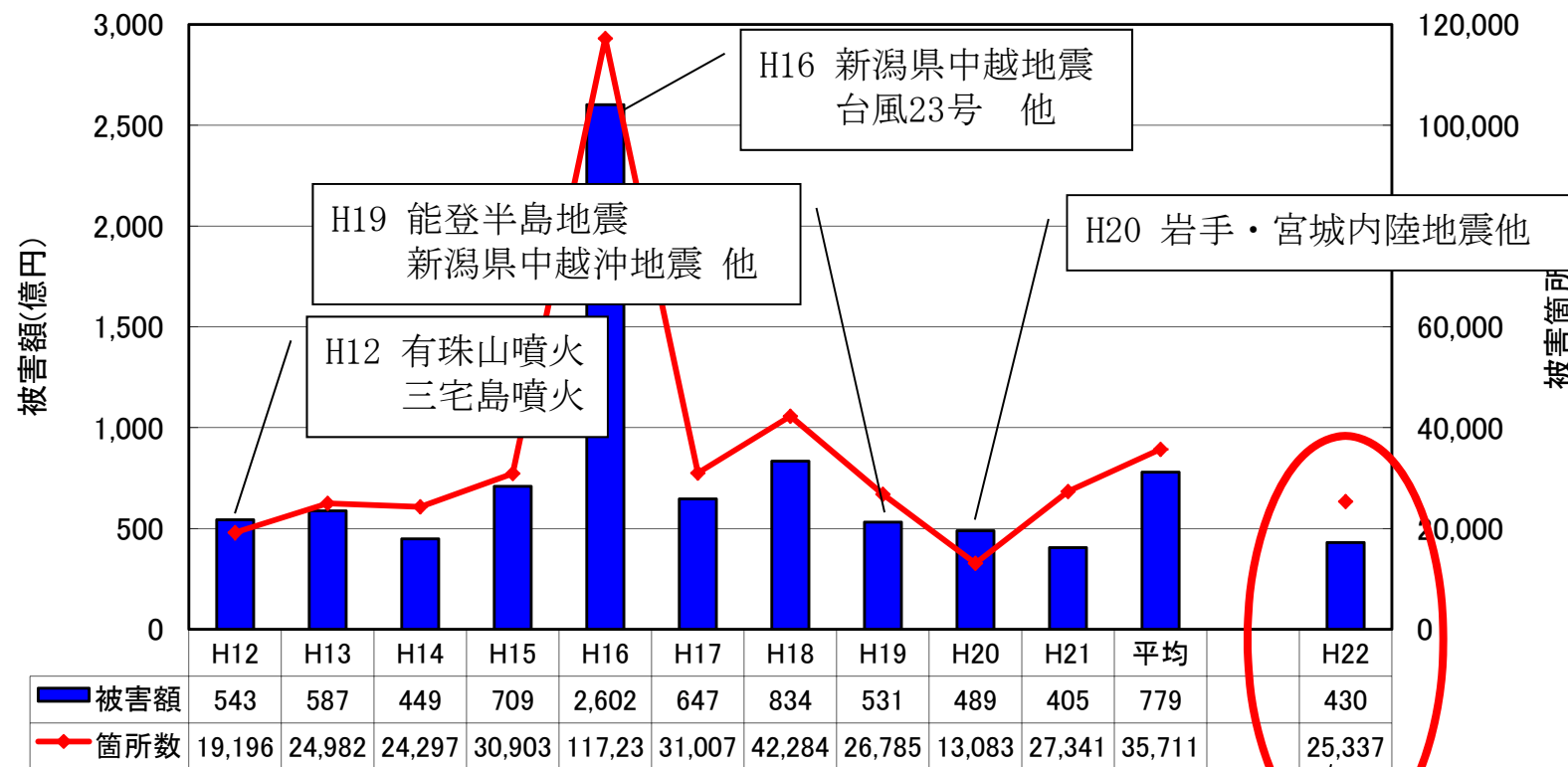
	農地	農業用施設	海岸	地すべり防止施設	直轄施設	合計
被害額 (百万円)	17,437	24,728	470	100	260	42,995
被害箇所	14,028	11,293	6	7	3	25,337

参考（農村生活環境施設）

	集落排水施設	営農飲雑用水施設	農村公園施設	集落防災安全施設	情報基盤施設	合計
被害額 (百万円)	164	15	50	0	0	229
被害箇所	2	1	1	0	0	4

被害額の推移

農地・農業用施設等の被害額の推移



前年(平成21年)と同程度
過去10年平均の55%

都道府県別の被害状況

農地・農業用施設等の被害額

(単位：百万円)

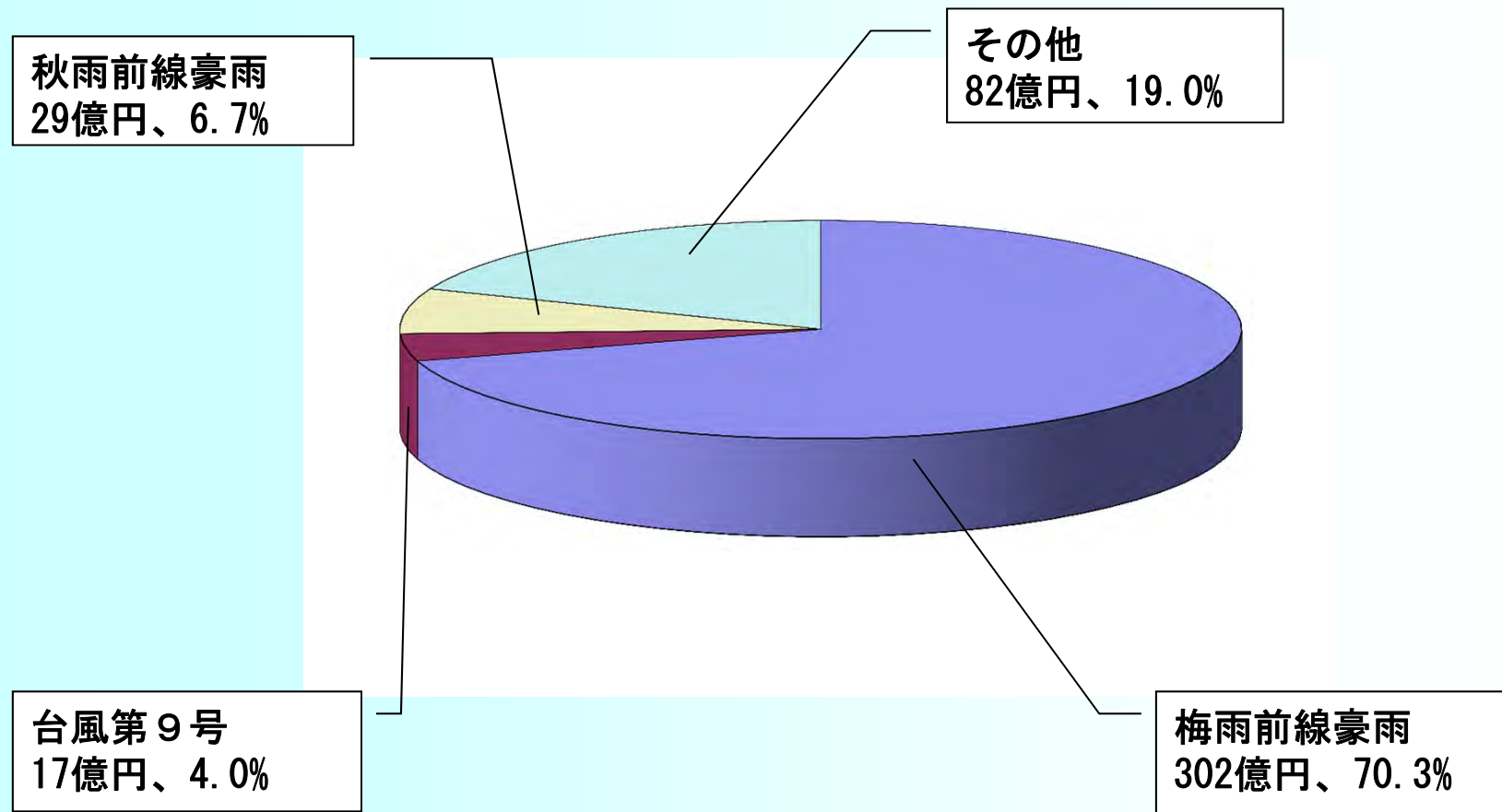
都 道 府 県 名	過去5年平均 (H17～H21)		H 22		都 道 府 県 名	過去5年平均 (H17～H21)		H 22	
	箇 所	金 額	箇 所	金 額		箇 所	金 額	箇 所	金 額
北海道	77	898	113	1,516	滋 賀	21	58	94	69
青 森	135	468	190	608	京 都	405	276	265	308
岩 手	744	1,349	586	1,158	大 阪	134	177	547	405
宮 城	405	6,135	77	75	兵 庫	1,034	1,957	879	1,298
秋 田	422	1,269	994	951	奈 良	335	402	54	96
山 形	65	205	348	332	和歌山	519	850	262	453
福 島	835	1,754	642	812	鳥 取	247	609	219	348
茨 城	9	17	5	6	島 根	1,378	2,267	239	397
栃 木	42	99	4	8	岡 山	731	850	1,001	610
群 馬	61	128	96	68	広 島	907	1,635	2,131	3,871
埼 玉	2	11	-	-	山 口	1,352	1,722	2,007	3,801
千 葉	87	182	18	53	徳 島	102	345	75	241
東 京	41	440	1	10	香 川	145	228	14	23
神奈川	2	25	12	100	愛 媛	246	646	31	39
山 梨	58	85	2	2	高 知	452	778	315	364
長 野	989	1,644	2,358	1,324	福 岡	858	1,895	693	1,932
静 岡	106	360	322	1,451	佐 賀	1,766	2,305	3,891	5,408
新 潟	930	3,353	162	714	長 崎	1,334	2,193	704	1,107
富 山	819	1,424	185	393	熊 本	2,185	3,422	315	414
石 川	704	2,386	332	540	大 分	3,001	4,551	48	270
福 井	69	134	30	85	宮 崎	1,678	3,269	953	3,140
岐 阜	131	304	377	617	鹿児島	2,331	4,302	3,660	7,029
愛 知	46	52	23	9	沖 縄	25	315	30	411
三 重	135	347	33	129	全 国	28,100	58,121	25,337	42,995

(注) マーカ一部は、被害額の上位3位を明示

平成22年の主な災害

- 梅雨前線豪雨 (6/11～7/19)
広島県、山口県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県
- 台風第9号 (9/5～9/8)
静岡県
- 秋雨前線豪雨 (10/18～10/25)
鹿児島県

H22年災の主な災害別割合



※農地・農業用施設等の被害額の内訳

梅雨前線豪雨

発生日：平成22年6月11日～7月19日

被害箇所数及び被害額

農地	10,765箇所	12,731百万円
農業用施設	8,724箇所	17,345百万円
その他	7箇所	145百万円
合 計	19,496箇所	30,221百万円

生活関連施設	3箇所	214百万円
--------	-----	--------

梅雨前線豪雨の気象概況

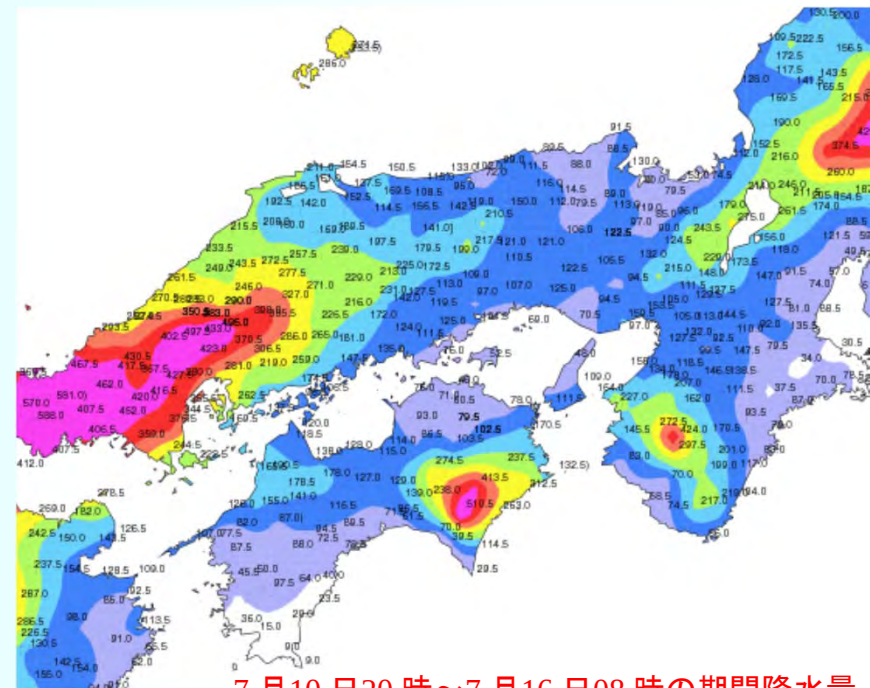
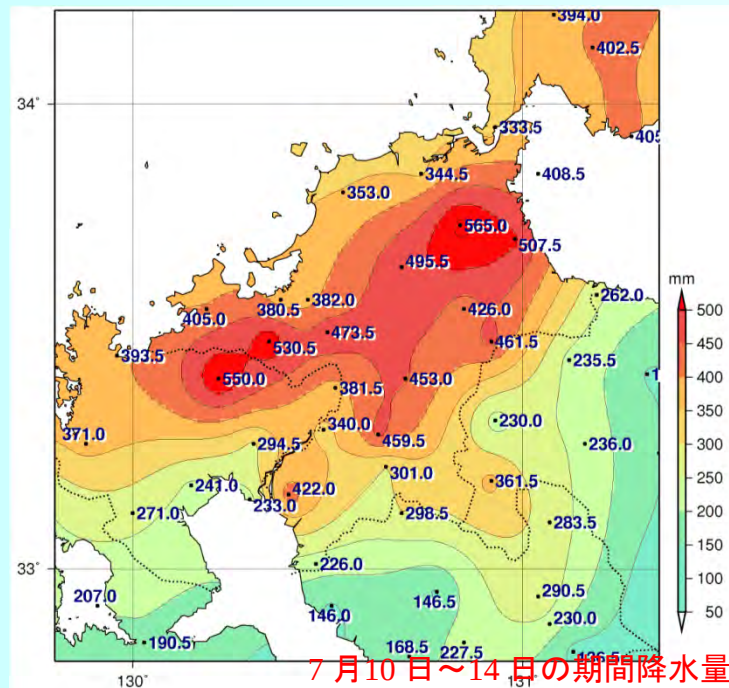
【気象の状況】

7月11日に西日本から日本海まで北上した梅雨前線は、12日にはゆっくり南下し西日本に停滞した。13日には再び日本海まで北上し16日にかけて停滞した。この前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。

【大雨の状況】

中国四国地方では、10日20時から16日08時までの期間降水量が、高知県安芸郡馬路村で510.5ミリ、広島県山県郡安芸太田町で497.5ミリ、広島県山県郡北広島町で495.0ミリを観測した。

また、九州地方では、10日から14日までの総降水量が、福岡市小倉南区で565.0ミリ、同早良区で530.5ミリ、行橋市で507.5ミリ、飯塚市で495.5ミリとなり、行橋市と飯塚市では7月の平年の月降水量の1.5倍を超える大雨となった。



各地の被害状況



農地の埋没・流失(庄原市)



農道の損壊(霧島市)



ため池の決壊(下関市)



水田の埋没・流失(霧島市)

台風第9号

発生日：平成22年9月5日～9月8日

被害箇所数及び被害額

農地	341箇所	776百万円
農業用施設	146箇所	961百万円
その他	0箇所	0百万円
合 計	487箇所	1,737百万円

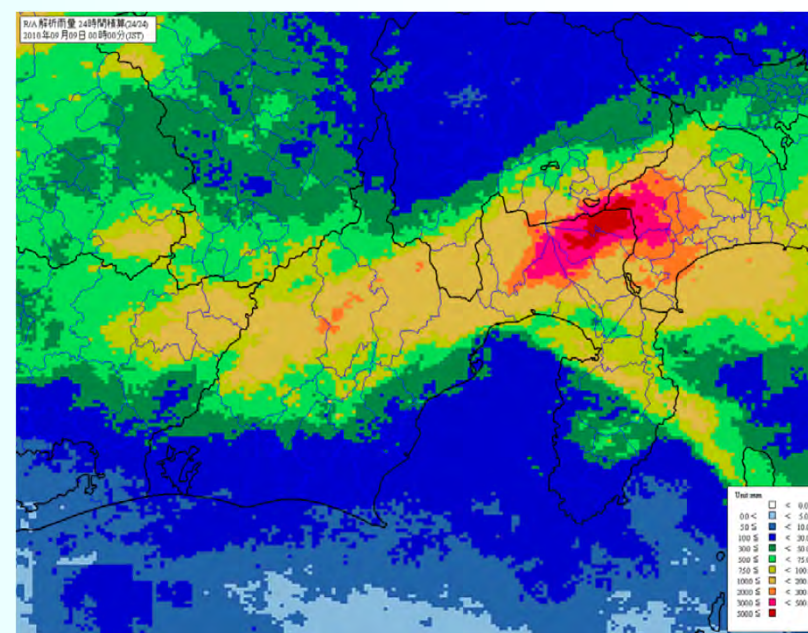
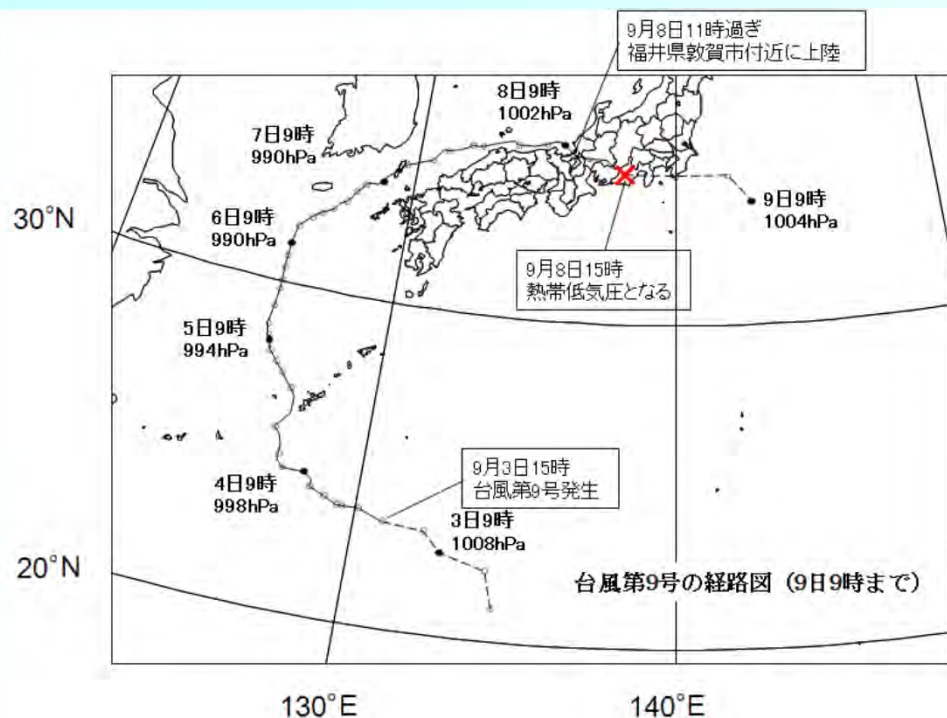
台風第9号の気象概況

【台風の概況】

台風第9号は、9月3日15時に沖ノ鳥島付近で台風となり、6日には南西諸島から東シナ海を北上して、対馬海峡から山陰沖を東北東から東へ進み、8日11時過ぎに福井県敦賀市付近に上陸した。その後、中部地方を南東に進み、同日15時に静岡県で熱帯低気圧に変わり、夜関東の東海上に抜けた。

【降水の状況】

静岡県では、台風の接近により7日18時頃から雨が降り出し、8日7時頃から雨雲が発達し、9時には井川で1時間降水量56.5 mm、御殿場で46.0 mmを観測した。10時には小山町付近で1時間降水量が解析雨量でおよそ110 mmの記録的な大雨を観測した。この後も東部では猛烈な雨が降り続き、小山町付近は16時にも1時間降水量が解析雨量でおよそ120 mmの記録的な大雨を観測した。8日の日降水量は、多い所で井川224.5 mm、御殿場218.0 mm、梅ヶ島187.5 mm、川根本町で150.0 mmを観測した。



8日の24時間解析雨量

静岡県小山町の被害状況



秋雨前線豪雨

発生日：平成22年10月18日～10月25日

被害箇所数及び被害額

農地	366箇所	1,189百万円
農業用施設	373箇所	1,691百万円
その他	0箇所	0百万円
合 計	739箇所	2,880百万円

秋雨前線豪雨の気象概況

【気象の状況】

10月18日から20日にかけて奄美地方付近に前線が停滞し、南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。

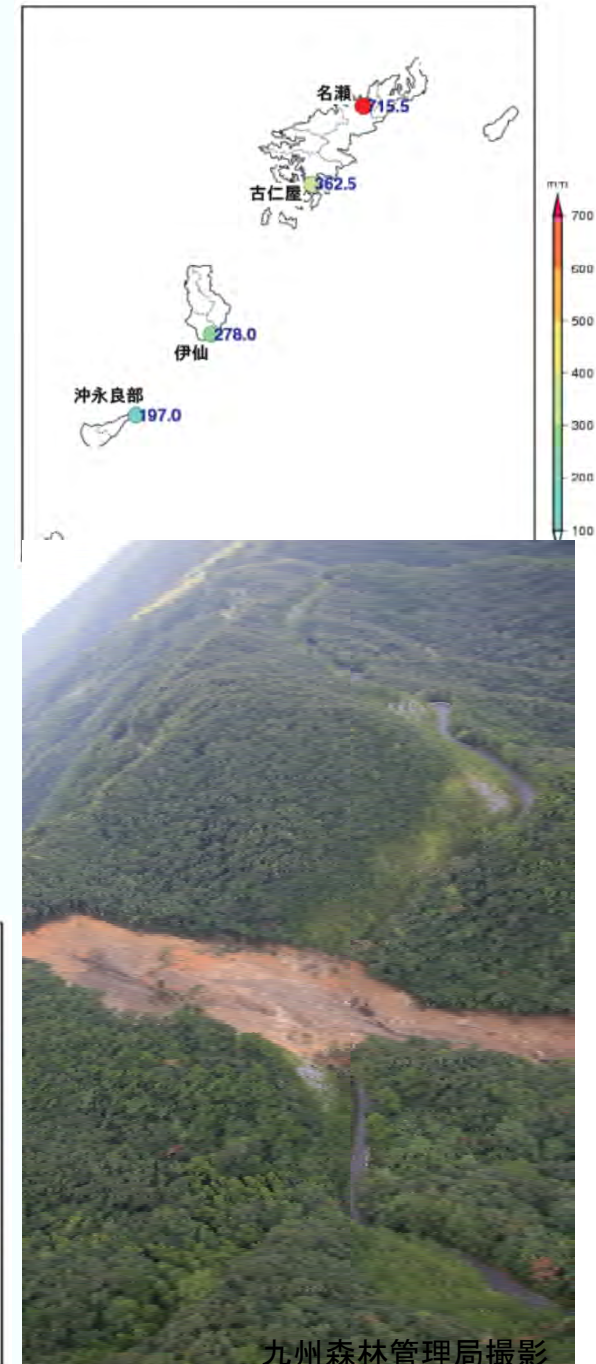
このため、20日は奄美地方の北部で雨雲が発達し、奄美大島に次々と流れ込んで大雨となった。

【大雨の状況】

奄美地方では、北部を中心に19日明け方から激しい雨となり、20日昼前から昼過ぎにかけて奄美市付近、大和村付近、瀬戸内町付近で解析雨量が1時間120ミリ以上の記録的な大雨となった。

奄美市名瀬では、20日23時20分までの最大24時間降水量648.0ミリ、20日の日降水量622.0ミリとなり、ともに年間の観測史上1位の記録を更新した。

18日21時から20日24時までの総降水量は、奄美市名瀬で10月の平年の月降水量(238.7ミリ)の約3倍に匹敵する715.5ミリを観測したほか、瀬戸内町古仁屋で362.5ミリ、伊仙で278.0ミリ、天城で249.5ミリ、奄美市笠利で212.0ミリの大雨となった。



奄美大島の被害状況



激甚災害の指定

- ① 「平成22年6月11日から7月19日までの間の豪雨による災害」を激甚災害として指定。
[平成22年8月25日政令公布・施行]
- ② 「平成22年9月4日から同月9日までの間の暴風雨及び豪雨による神奈川県足柄上郡山北町及び静岡県駿東郡小山町の区域に係る災害」を局地激甚災害として指定。
[平成22年10月27日政令公布・施行]
- ③ 「平成22年10月18日から同月25日までの間の豪雨による鹿児島県奄美市等の区域に係る災害」を局地激甚災害として指定。
[平成22年11月25日政令公布・施行]

Fin

Disaster Restoration Office